

上場会社名 **大丸エナウイン株式会社**

(コード番号 9818 東証・大証第二部)

(URL <http://www.gs-daimaru.co.jp>)

問合せ先 代表者役職 取締役社長

氏名 伊藤 吉朝

責任者役職 専務取締役 管理本部長

氏名 竹川 卯三郎

(TEL:06-6685-5106)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高又は売上に相当する事項の会計処理の方法の : 有

最近会計年度における認識の方法との相違の有無

影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

2. 平成 16年 3月期第1四半期業績の概況 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 6月 30日)

(1) 売上高 経常利益 当期純利益

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年 3月期第 1四半期	3,616	8.4	241	3.3	132	9.6
15年 3月期第 1四半期	3,335		233		120	
(参考)15年 3月期	14,940		678		299	

(注) パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示します。

平成 15年 3月期第 1四半期の売上高 経常利益 当期純利益についての開示は行っておりませんが、当第 1四半期と同様の方法により算出したものです。

当第 1四半期のわが国経済は、長引くデフレ進行懸念に加え、SARSショックやリソな銀行への公的資金注入等国内需要が弱く、個人消費は依然として低迷いたしました。

このような状況下ではありましたが、当社の売上高は、主力のLPガスが販売数量、販売単価ともに前年を上回りましたので、3,616百万円 (前年同期比 8.4%増)となりました。経常利益につきましては、売上総利益が 4.1%上回ったものの、販売費及び一般管理費の増加もあり241百万円 (前年同期比 3.3%増)にとどまりました。当期純利益は旧金沢事業所の売却益 13百万円もありましたので 132百万円 (前年同期比 9.6%増)を計上いたしました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

当社の関東地区における営業基盤拡大のため、昭石ガス株式会社より6,629軒の顧客を持つイバサンホームガス株式会社の全株式を5月 1日付けで譲受けました。譲受額はLPガス供給権、充填設備および株式を含め約 1,033百万円で年商は約 500百万円を見込んでおります。

来年度より開始する減損会計の導入にさきがけて保有投資不動産の見直しをした結果、現在賃貸契約がなされていない栃木県小山市の事業所跡地の売却を決議し、6月 18日付けで契約書を締結いたしました。帳簿価格は 224百万円に対し、譲渡価格は52百万円のため特別損失約 172百万円が発生いたしますが、本譲渡に関わる業績への影響につきましては、当初の業績予想に織り込み済みであります。

3. 16年 3月期の業績予想 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	6,800	240	0	0	0
通期	15,200	880	320	37	35

業績は概ね当初予想どおりに推移しており、業績予想の変更はありません。